

(別紙)

令和 8 年 3 月定例会議 一般質問

6 番議員 前田 せつよ

下水道事業及び浄化槽について問う

下水道事業は人々の快適な生活環境を守るため、下水道施設の維持管理や河川の水質保全の適正化などに努めるものである。また、災害時における下水道環境の維持を考えると特段の備えが必要である。

昨年 1 月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故は、今なお復旧工事が続いている。その原因は、下水道の老朽化に伴い管が破損したとされているが維持基準は 3 段階（重度・中度・軽度）のうち中度であった。

八潮市の事故を受けて、国から污水管渠の緊急点検を行うよう通達があり、本町でも点検を行い、町ホームページにその結果を掲載しているが、町民からは、さらに詳しく知りたいという声がある。また、下水道特有の劣化原因である硫化水素による腐食も懸念される。

本町は下水道人口普及率並びに下水道への接続率は高い水準であると認識しているが、河川の水質保全の視点から浄化槽にも目を向ける必要があると考える。そこで、次の項目について問う。

- 1 下水道管は維持基準を踏まえてどのような状況か。
- 2 污水管渠の緊急点検結果の詳細は。
- 3 下水道特有の劣化原因である硫化水素による腐食を懸念する箇所の点検は。
- 4 浄化槽利用世帯の単独処理浄化槽と合併処理浄化槽の現状は。